

<株式会社エフエム東京 第 4 3 7 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 29 年 4 月 4 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（5 名）

横 森 美 奈 子 委員長  
内 館 牧 子 委員                      秋 元 康 委員  
ロバート キャンベル 委員              川 上 未 映 子 委員

◇欠席委員（1 名）

渡 辺 貞 夫 委員

◇社側出席者（9 名）

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
平 専務取締役  
吉 田 常務取締役  
村 上 取締役営業局長  
山 科 常勤監査役  
森 田 執行役員編成制作局長  
兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長  
宮 野 編成制作局 編成部長  
兼 番組プロデューサー（オブザーバー）  
若 杉 編成制作局 制作部長

◇社側欠席者（1 名）

延 江 営業局 エグゼクティブ・プランナー

【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（約 26 分）  
『福山雅治 福のラジオ』  
2017 年 3 月 11 日（土）14:00～14:55 全国 38 局ネット

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■2017 年 2 月度 聴取率調査結果について

2017 年 2 月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました（調査対象期間：2017 年 2 月 20 日～2 月 26 日）。

当社メインターゲット M1F1 層（男女 20-34 才）は今回男女ともにスコアが下降、前回同様この層で在京局第 2 位でした。12-59 才のリーチ（到達率）では 19 期連続で単独首位を継続したものの、20 代 30 代で聴取分数が前回以上に落ち込み、結果として 20 代区分ではかろうじて同率首位を維持しましたが 30 代区分で首位局との差が広がり、4 月改編に向けて多くの課題が露呈しました。

社会性、時流に適応した番組内容であったか、聴取者心理に寄り添った番組演出ができているか、広報面の強化と併せ全番組で検証し聴取率回復に取り組んでまいります。

■2017 年 4 月番組改編について

「感動を提供し、共感を得る」

当社理念に基づきメディア価値向上・アイデンティティ強化を図るため番組改編を行います。

当社はアース&ヒューマンコンシャスの行動理念の実践に徹することにより、他社では真似のできないアイデンティティとブランドイメージを作り社会的信頼と収益基盤を得てまいりました。コアターゲットを M1F1 と定め全てのメディアの中でこの層なら TFM、とのパーセプションを獲得する方針を貫いています。戦略策定の要諦は 10 代、20 代、30 代各層の旗艦番組を鮮明にすることにあります。

SCHOOL OF LOCK! に代表される、10 代若者リスナーの創造と育成は当社にとっての重要な活動であり社会に出ても当社を聴いてくれるコアなエントリー層開拓は大きなテーマです。近年この勢いが弱まっていることは否めない事実であり、あらためて 2017 年度は若者層の聴取基盤を再構築するために平日夜 21 時台、SCHOOL OF LOCK!ならびに深夜ゾーンにサブカルチャー界で求心力の高いキャストを配し、放送とスマホを密接に連携させた統合メディア展開を駆使し 10 代シェア No1 を奪回します。

20 代はこの 2 年間「共感コミュニティ」を旗印とした番組展開により午後の平日ワイドで、特に女性層の聴取率向上が表れています。しかしながら、消費行動やライフスタイル変化のスピードの速いこの層にとって、日々新たな発見

と頷きのある情報提供をできているか、オフィスなどのビジネスシーンで聴き心地の良いテンポ感を演出できているかがリスナー共感の生命線であり、そのために番組モニター制の導入などマーケティング力を高め制作陣の変化適応力を養います。

さらに 20 代以上の層、つまり 30 代ひいては 40 代までのビジネスシーンの中核にいて知的コンテンツへの欲求の高い世代の取込みを図るため、時流を捉えた上質で洗練された音楽と話題を精査、特に平日午前ゾーン、JET STREAM (午前 0 時)、週末全国ネット番組等で展開し目的聴取を獲得できる名物コンテンツを編成します。

このように、各世代にとってのシンボリックな番組を戦略的に編成することで、10 代からの 40 代までのリスナー循環を構築し、M1F1 層 No1 ステーション奪回をめざします。

今改編は以上の編成指針に則り、次の重点課題とします。

- ① 10 代をはじめとする次世代リスナー、スマホ聴取世代開拓
- ② 上質で知的、文化的コンテンツの強化
- ③ 多様化する音楽ニーズに応える当社ならではの音楽コンテンツ強化

以下、強化ポイントごとに主な新番組、新企画をご紹介します。

## ①10 代をはじめとする次世代リスナー、スマホ聴取世代開拓

●月曜～木曜 22:00～23:55

番組名：「SCHOOL OF LOCK!」 \*全国ネット

コアターゲットである中高生への発信力再活性化が重要課題の同番組では、10 代リスナーの悩み、本音と向き合うコミュニティを深化させるため、彼らの関心の高いアイドル界とアニソン界から新出演者を起用。人気アイドルグループ「欅坂 46」で社会現象ともいえる圧倒的人気を誇る平手友梨奈、アニソンの歌姫の地位を確立したアーティスト LiSA をレギュラー出演者に迎え、リスナーの学校、家族、進路、友人との問題に自身の体験談も交えて真正面からトークを展開します。



●水曜 21:15～21:40 <新番組>

番組名：「蒼井翔太 HUNGRY NIGHT」 \*東京ローカル

出演者：蒼井翔太

音楽チャートを席卷しライブでは大会場を軒並みソールドアウトする人気声優たちの中でアニメ界、ゲーム界が当代 No.1 と評価する声優兼アーティストの蒼井翔太初の FM レギュラー番組。現代のカリスマがラジオというパーソナルな空間でリスナーを励まし、元気づけ、人生のエールを送ります。



②上質で知的、文化的コンテンツの強化

●月曜～金曜 24:00～24:55

番組名：「JET STREAM」 \*全国ネット

出演者：大沢たかお

放送 50 周年を迎える今年、「伝統」と「革新」をコンセプトに、音像コンテンツとしての存在感を高めるため、新たなプロジェクトを立ち上げます。世界最高のオーケストラとされるベルリンフィルハーモニー管弦楽団とバイオリニスト古澤巖氏の共演による「ミスター・ロンリー」を新たにオリジナルで録音、オープニングテーマとしています。また、JET STREAM をリスペクトするアーティストたちが番組の世界観を選曲で表現するなど企画を強化します。7月の50周年記念日にはスペシャルイベントと特別番組、秋には JETSTREAM コンサートを開催するなど、FM メディアのフラッグシップとしてのプレゼンスを上げます。



●日曜 21:30～21:55 <新番組>

番組名：「五線譜の解体新書」 \*東京ローカル

JCAA（日本作編曲家協会）と連携。時代を彩った名曲ヒット曲の歴史を作家の観点から紐解くクロニクル的対談番組です。日本を代表する作曲家、アレンジャーが順次登場し、今だから語れる名曲に隠されエピソードを証言。名曲を丁寧に解体しながら、

その制作の裏側にあるストーリー、楽曲制作の苦悩や葛藤、音楽そのものの素晴らしさや奥深さを追究してゆきます。圧倒的な知見を惜しみなく披歴しながら現代のヒットシーンとの繋がりを説きます。パーソナリティをつとめるのは加納有沙。不定期で日本作編曲家協会の会長服部克久が出演します。



●金曜 23:30～23:55 <新番組>

番組名：「ブリアサヴァランの食卓」 \*全国ネット

出演者：小山薫堂

かの偉大なる劇作家バーナード・ショウの名言「食べ物を愛するよりも、誠実な愛は存在しない」—そんな思想を体現する男が、作家の小山薫堂。食べることを愛してやまない小山薫堂が、「食」をテーマに様々な企画を考え実行し、時には食を通して人生の楽しさもリスナーのみなさんと実感する新感覚グルメ番組です。



③多様化する音楽ニーズに応える当社ならではの音楽コンテンツ強化

●日曜 13:00～13:55 <新番組>

番組名：「HITS ONE PREMIUM powered by Billboard JAPAN」

\*JFN38局ネット

出演者：ケリー隆介

米国で最も権威のある音楽チャート『Billboard(ビルボード)』の日本版 Billboard JAPAN の多種多様なチャートデータを活用し YouTube 再生回数や Twitter で話題のワードから見る音楽トレンド＝<ヒットの予兆>を紐解くほか、US Billboard の過去チャートから時代を彩った名曲＝<ヒットの背景>を深掘りするなど、新旧の音楽にフォーカスするプログラム。「i-dio(アイディオ)」のフラッグシップチャンネル「TS ONE」と企画連携した 55 分生放送番組です。



**【委員の意見および社側説明】**

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○今回 10 代の聴取が若者リスナーの層がナンバーワンではなくなったということについて伺いたい。

■10 代に関して言えば、今回という訳ではなく近年 SCHOOL OF LOCK!の時間帯で少し足踏みをしてしまっている。本来ならこの時間でもっと 10 代を取り込んで、その上で SCHOOL OF LOCK!を卒業した 20 代の層が他の番組を聴くようになる循環を作ろうという戦略でやっているが少し 10 代の取り込みが弱くなってしまっている。

○10 代の数字が足踏みをしてしまったのは、他局で何か強力なコンテンツができたとか、外的な変化があったのだろうか？

■数字上で明らかなのは、SCHOOL OF LOCK!の時間帯で AM 局で強い数字が出ている局があり、まずはそれをどう攻略するかが課題ではある。

○10 代の人数が（人口的に）少なくなってきているのもあると思うが。

■もちろん、絶対的な人数が減っていることもあるがリーチは獲得していきたい。

○10 代の（エンタメの）選択肢の中に「ラジオ」はどのくらいの割合を占めるのだろうか。

○単純に SCHOOL OF LOCK!から離れているのか、他局のコンテンツに引っ張られているのか、新しい何かに奪われたのか。

■さきほど挙げた同時時間帯で放送している AM 局の例では、非常に強力な男性アイドルの番組を放送しているということがある。かなり長い間、男性アイドルグループの放送を何時間も割いて行っているので、常勝ではある。SCHOOL OF LOCK!も数字で勝つ時期があった。勝ってはまた逆転する、を繰り返してきた。男性アイドルグループ以外の番組がこの時間の若年層を制するのはあまりない。そういう意味では出演者に不器用な人たち、ロックバンドや若手のお笑い芸人を起用している SCHOOL OF LOCK!は社会的な意味を持たせるなどして検討してきた。この番組では、「掲示板」というシステムを使っているが、この「掲示板」は最初は登録が必要。その登録者数は毎週 700～900 程度ある。今週は特に新学期ということもあり、2000 人くらいの登録者数があった。人口自

体が少子化で減っているものの、10代が SCHOOL OF LOCK!に興味をもって  
くれているのは変わらない、と考えている。

○先ほど 10 代の話があったが、資料にあった上質で知的コンテンツについては  
互いに邪魔をしないようにどう棲み分けていくのか。時間帯で分けていくのか。

■とても難しいところではある。平日のワイド番組は 20 代女性でトップを獲得  
していて、どうしても 30 代の数字がのびない。いろいろ議論は繰り返すが、あ  
る程度大人の鑑賞にも通用するような番組なのかどうかということを考えるこ  
とは FM にとって重要なことであり、また、JETSTREAM が今年 50 周年を迎  
えるが、もう一度原点に戻った音像効果、作りの再構築を行い、夜間飛行の想  
像力をかきたてる面白さを 30 代 40 代にも恒常的に聴いてもらうよう仕立て上  
げたいと考えている。あるいは、土日の番組では 60 分の全国ネットの大型番組  
がある「サンデー・ソングブック」「安部礼司」に匹敵するような名物番組を配  
置して、アダルトな人にも楽しんでもらうようなステーションづくりが必要だ  
と思っている。

○全世代に受け入れられる番組作りは難しいのか？

■全世代が楽しめる番組というのは難しいのではないかと考えている。コアタ  
ーゲットは F1M1 に置きつつ、10 代にとっても 40 代にとってもフラッグシッ  
プ番組があるような編成でありたいと思っている。

○番組発の企画や番組から発信していくことが大切だと考える。それは  
「SCHOOL OF LOCK!」とか「安部礼司」とか、とても評価されていると思う。  
ただ、逆に世の中のこと、時代から引っ張ってこることが TOKYO FM はあま  
り得意ではないと思う。それは例えば、『高橋みなみの「これから、何する？」』  
がレーティング期間に豊洲から生中継していたが、それを聴く層が想定できて  
いない。前段に都知事との対談があったかもしれないが、それはアイドル×都  
知事で話題にはなったが、そこからの流れで豊洲というのは違うと思う。その  
時の旬な話題がやりたい、ということと、政治問題にも切り込みたいというの  
が違う。その瞬間、もっと話題になったものをもっとミーハーな目線で扱う方  
が良い。高橋みなみという女性が、20 代の女性として、本当の友だちと会った  
時に豊洲の話題はしないと思う。良いか悪いかではなく、そのポイントははずら  
したらいけないと思う。高橋みなみが社会的なことをするための番組と勘違い  
したらいけない。世の中のことを持つてこることが大切。今みんなが一番気  
になっているものは何かを番組で料理しないと。

■高橋みなみさんの番組が始まって一年、ニュースに対する興味関心を強化し

<第 437 回放送番組審議会議事録>

てきて、リスナーの代表として素人でありながら食いついていくことが大変な共感を集めた。しかし今ご意見があったように、取材に行くことが目的になってしまった部分はあるのかもしれない。

○被災していない人がその瞬間だけヘルメットをかぶって被災地に入る様な嘘っぽさを感じさせてはいけない。

今後も期待しています。



【番組名】 『福山雅治 福のラジオ』

【放送日時】 2017年3月11日（土）14:00～14:55 全国38局ネット

【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、3月11日（土）午後2時に放送した『福山雅治 福のラジオ』のダイジェストです。

TOKYO FM では1996年4月から福山雅治のレギュラー番組を編成しており、今年で21周年を迎えました。全国のリスナーからのメッセージや投稿企画を軸に、福山雅治の軽妙なラジオトークが幅広い層から人気を博し、今なお高い聴取率を誇っています。

さる3月11日（土）午後2時台、レギュラー放送が東日本大震災6年目の発生時刻と重なる回となりました。通常の放送スタイルを維持させながら、福山雅治がこの日、被災地で聴いてくださっているリスナーに寄り添う形で、自身の楽曲弾き語りも交えた内容でお届けしました。

■当日のオンエア楽曲

- ・「道標」／福山雅治（生演奏）
- ・「家族になろうよ」／福山雅治
- ・「桜坂」／福山雅治（生演奏）

<参考>

■6年目を迎えた東日本大震災関連の特別番組

東日本大震災から6年目を迎えた今年、ヒューマンコンシャスの理念に基づき震災発生後から継続して放送している「LOVE & HOPE」(平日 6:30~6:40)の特別篇として、現地取材に基づいた以下特別番組を放送しました。

<3月10日(金) 16:00~17:00>

LOVE & HOPE スペシャル 『忘れない、伝えたい 僕たちがつくるいのちの教科書』

東日本大震災から6年、防災教育とそれを語り継ぐことの大切さを伝える特別番組として、東北の若い世代が伝え残そうとしている「震災の記憶と記録」を紹介。震災の記憶が薄れゆく中、番組が密着したのは、宮城県女川出身の高校3年生による「1000年後のいのちを守るプロジェクト」です。震災当時小学校6年生だった彼らがまず手掛けたのが「いのちの石碑」。



ここより上に逃げてください!という文字を刻んだ石碑を町内の津波到達地点に建立しました。

そして、石碑の次に彼らを取り掛かったのが、「女川いのちの教科書」の作成でした。「一人でも多くの命ではなく、一人の命も失わないように、この震災の記憶と記録を1000年後まで語り継ぎたい」。震災当時小学生だった彼らがこの6年間どんな思いでプロジェクトに関わってきたのか。被災体験をした若者たちの視点と声で構成し、「語り継ぐ、若い力」の大切さをこの特番で紹介しました。

<3月11日(土) 6:00~7:00>

LOVE & HOPE スペシャル 『6年目の春だより~旅立ち、南三陸町戸倉』

被災地で成長を重ねた若者たちの心の成長とそれぞれの進路への旅立ちを描くドキュメンタリーを放送。「LOVE & HOPE」で震災直後から交流を続けてきた宮城県南三陸町の戸倉という集落に密着。6年間で取り戻したのものや、今なお残る課題と共に、町の復興のためになろうとする若者たちの姿に注目しました。



番組が戸倉を初めて訪れたのは、2011年6月。津波で校舎を失った小学校が、隣町の廃校になった校舎を間借りして、授業を再開した

## <第 437 回放送番組審議会議事録>

ばかりの頃でした。そこで出会ったのが当時、小学 6 年だった「佐藤貴大くん」と「須藤美帆さん」。この春、彼らは地元の高校を卒業し、生まれ育った町を旅立ちます。6 年が経過した今、震災と被災生活は 2 人にとってどんな記憶として残っているのか、4 月から大学に進学することが決っている 2 人は自分の将来について、どんな想いを抱いているのか。番組では、2 人の高校生と、彼らの成長を見守ってきた大人たちの話を紹介しながら、震災によって失ったモノばかりでなく、逆に人々が得たもの、6 年間の街と人の成長の姿をみずみずしく伝えました。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○福山雅治さんは「ラジオというメディア」を良く理解していて、完璧な放送だと思った。震災から 6 年ということへの接し方がすごく自然体でいいなと思った。声の質も良く、笑いを交え、でも伝えたいことを自分の言葉で伝えているという、本当にラジオの特性をよく理解した、語り掛けるようで素晴らしい番組だった。

ちょっと気になったのは、喋りの時にずっと BGM が流れていて、BGM をとるとどうなるのかな、とは思った。喋る時に BGM が流れているのはそれが良い時もあるが、気になる時もある。

■冒頭では BGM はなしにしたが、確かに今のご意見を聴いて、エンディングは BGM 検討の余地はあった。

○この番組で大きなヒントだなと思ったのは、やっぱりリクエスト曲はいいなと思った。これはラジオの基本じゃないかと。僕らが中学生くらいの時、当時は洋楽だったが、深夜放送にリクエストを書いて、それが読まれるかどうかとか。それが、現代の音楽配信サービスが台頭し、いくらでも音楽が聴ける中で、自分の意思でリクエストをする。そのリクエストをする理由って何なのかを考えた時、それがラジオの良さだと思った。

○ラジオは「声」だなと。福山雅治さんの声がすごくいいなと。本当にラジオの特性を活かしている。

○こういう感じで他の番組も作れないのかなと思った。「福山雅治」という天才のこの番組をフォーマットにして他の人でやったらどうなるのかなとか考えてしまった。

最近聴いたラジオの中では一番おもしろく感じた。

○見事だと思った。声を聴いて、「あの顔でこの声か」と、天は二物を与えすぎだなと思ってしまった。トークは落ち着いているし、言葉もきれいだし、お歳を召した方もこの番組を聴くと思った。

○現実では、(震災関連を扱うことについて)「また復興ネタか」と思う人が存在することは確か。そういう人たちがいることを考えると、今回聴いた番組は、通常の番組スタイルとうまくバランスをとったことが成功かと思う。とてもうまく重なっていた。選曲も良かった。

○ひき語りを中心に構成されていて、最初の曲「道標」が、リスナーのおばあさんのエピソードを読んで、そこからひき語るというのが、静かですごく良かった。最後の大船渡のカレーうどんのエピソードも具体的で、震災前の風景と今はどういう風になっているかという話、具象的ですごく（聴いていてイメージが）描けた。石巻でのライブの話も福山さんの直接のエピソードと結びついて、手紙があって。構成が素晴らしかった。語りのテンポが速いのに聴き取りやすく、上の世代にも伝わると思う。いろいろな人が反発しあわずに混ざり合うように、さまざまな世代が聴ける番組であると思った。

○震災後、毎年3月11日になると自分と震災の距離とかを考えさせられる。どれぐらい考えてどれぐらい忘れてないのか。1年に1回というのも情けないが、突きつけられる時期。小説や文学の世界では3月11日というのは特に意識せず、作品の流れがずっと続いていく。テレビやラジオで3月11日の震災の特集を見聞するたび、これからもずっと続いていく3月11日をどうやって扱ってあげればいいんだろうどうやって継承してあげればいいんだろうっていつも思わされていた。今回、福山さんのラジオを聴いて素晴らしいなと思った。生歌のタイミングや紹介されるリスナーのメッセージが、「リアリティ」なんて言葉を使うと安っぽくなるが、日常の中でわたしたちが忘れてることがあって、日常の中でふっと震災を思い出すというそういう感覚が凝縮されている気がして、嘘がないというか、「その日だけとりあえず」、という感じがなかった。どうしても「特集」を組むと、SNSでも揶揄されるように震災ポエムだ、とかそういう風に捉えられたりする。普段なんにもしてないくせに、その日だけ、のような。それは被災者を傷つける気もしている。東京からどうやって取り上げるかをいつも模索しているが、今回の番組の構成とか、福山さんの声、丁寧さ、いろいろな人に配慮した言葉選び、伝わるとまどい、そのひとつひとつが素晴らしかった。聴き終わった後に、こういう感じでいけばいいんだという肯定感をもらった。作りものだという感じが一切なかった。パーソナリティーとリスナーが作り上げてきた21年を感じた。1日や数年ではできないことかと。

○3月11日の放送を意識して聴いていたが大上段に構えることなく、いい意味でさり気なくまとまっていたのが良かった。わたし自身個人的には福山雅治さんの強いファンではないのだが、非常に強い人気がある方なので、その魅力はどこにあるのかと考えながらも聴いた。

■福山雅治氏の番組はもちろんコアファンも聴いているが、もう少し幅広い層が聴いている。家族のコーナーなどいくつかコーナーがあるが、福山氏自身も「福山おじさん」といって10代リスナーの質問に答えるなど、幅広く受け入れることを意識した番組作りを行っていると思う。また、メールなどを拝見して

いると、CD を買う訳でもない、コンサートに行くわけではない。ただこの番組をずっと聴いている、福山雅治氏の番組を聴きたい、そういうリスナーがいることが読み取れる。ラジオというメディアの機能、パーソナル性、届き方を熟知した方だと思う。

■福山雅治氏が一番大事にしているのが、メール。今回の収録も、台本は用意していたが、冒頭のメールを読もうというのは現場でご本人の意向で決めた。そのメールを読んだ上で、本当は「桜坂」1 曲だけの弾き語りの予定が、「道標」もやろうと、その場で決まった。ブースに入ったらご自身で構成をする。ラジオのプロフェッショナルな方というのは一緒に番組を作っていてとても心強く感じる。

#### 5.放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「JOGLIS」

4 月 29 日 (土) 7:00~7:20 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>

#### 7. その他

次回の放送番組審議会を、5 月 2 日 (火) に開催することを決めた。